

Mokutaidikeyo

木耐協

Report

マンスリーレポート

2026.8
vol.
332



1. スペイン瓦葺きで、1階は開放的なベランダを持つ
2. 数寄屋建築で用いられる格子模様の天井に、洋風の照明が付けられている
3. 意匠に武田五一が欧米の流行を取り入れたセセッション式の印象が見られる

特集

防犯リフォーム

のススメ

今号の表紙

芝川又右衛門邸（博物館 明治村/愛知県犬山市）は、明治44年（1911）に建てられた武田五一設計の洋館で兵庫県西宮市甲東園に建てられた、大阪の商人芝川又右衛門の別荘でした。1995年の阪神・淡路大震災で被災し解体を余儀なくされたため同年に寄贈、2007年に移築されました。現在、建物内部は限定公開されており、和洋折衷の造りについて建物ガイドによる詳しい説明を受けながら見学できます。

写真1：木耐協事務局 理事長撮影
写真2、3提供・URL：博物館 明治村
<https://www.meijimura.com/>



日本木造住宅耐震補強事業者協同組合



防犯リフォームで住まい全体を見直すきっかけに

- 領域性** 部外者を敷地に入れない

門扉・フェンス・塀の設置、門柱位置の工夫、インターホン道路ぎわへ。駐車スペースへのゲート設置で、敷地への車の乗り入れや死角からの侵入も防げます。
- 監視性** 不審な動きを見える化

センサーライト、防犯カメラ、植栽の剪定による見通しの確保。古いブロック塀をアルミフェンスに交換することで、道路からの視認性が高まり、見通しと耐久性を同時に向上できます。
- 抵抗性** 短時間での侵入を防ぐ

CP認定防犯ガラスへの交換、内窓追加、シャッター設置、補助錠（ワンドアソーロック）。勝手口は死角になりやすく、強化ドアへの交換と面格子設置が有効です。

※CPについて https://www.bouhan-cp.jp/cp_about.html
- 警報性** 侵入を周囲に知らせる

防犯アラーム、センサー連動ライト、カメラ付きインターホン。不審者に「気づかれた」と認識させることで、犯行意欲を削ぐ効果があります。

空き巣や強盗被害から身を守る防犯リフォームは住まい全体の見直しにつながります。古いブロック塀からフェンスへの交換は耐震安全性の向上にもつながり、内窓

設置は断熱・省エネ性能の向上になるなど、一石二鳥の提案が随所に生まれます。左記の4つの視点バランスよく取り入れましょう。

国土交通省「住まいの防犯リフォームガイド」



https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000319.html

国土交通省・警察庁監修の「住まいの防犯リフォームガイド」（発行：一般社団法人住宅リフォーム推進協議会）には、本特集でご紹介した「領域性」「監視性」「抵抗性」「警報性」の4つの視点や防犯に関するチェックリスト、具体的なリフォーム事例がわかりやすくまとめられています。お客様への配布・説明

資料としてもご活用ください。「防犯が心配で」という一言を入口から、建物全体の安全診断や耐震補強の提案へとつなげることが可能です。「安心・安全な住まいをつくる専門家」として、防犯から耐震まで視野に入れたトータルな住まいづくりを進めてまいりましょう。

防犯の専門家「防犯設備士」を自社に

（公社）日本防犯設備協会が認定する防犯設備の設計・施工・維持管理に関する国内最大規模の民間資格です。警察白書にも「防犯設備に関する知識・技能を有する専門家」として紹介されており、防犯のプロとして住まいの安心・安全を提案できる証となります。次回の受付開始日は9月14日です。詳しくはホームページをご覧ください。



公益社団法人 日本防犯設備協会 | 防犯設備士



https://www.ssaj.or.jp/security_officer/

特集

お客様が次の被害者になる前に、工務店だからできること

防犯リフォームのススメ



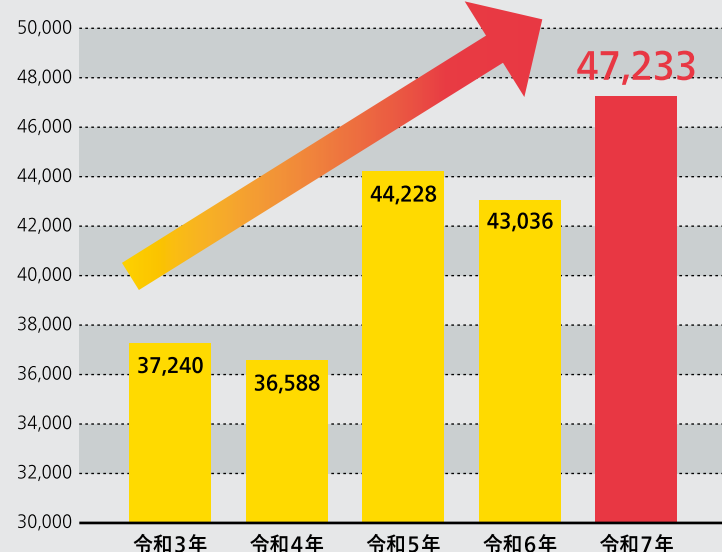
「特定・流動型犯罪グループ」いわゆるトクリュウによる日中の押し込み強盗など、住宅の防犯性が問われる事件が全国で多発しています。警察庁の統計によると、令和7年の空き巣・忍び込みなどの住宅への

侵入盗難（侵入窃盗）は約4万7,000件と前年比10%増。最も狙われているのはごく普通の一戸建て住宅です。そんな犯罪被害からお客様を守るための防犯リフォームについて特集します。

文：伊藤健三

1日130件と増加中。他人事ではない侵入窃盗

侵入窃盗の認知件数推移

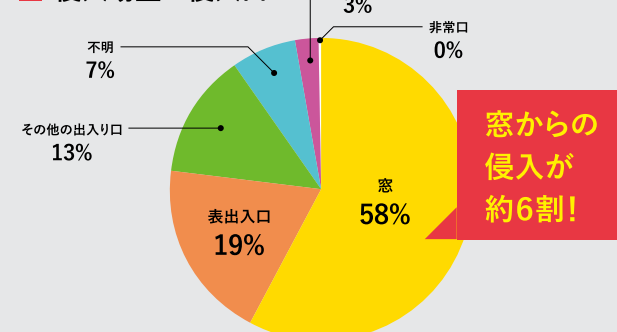


出典：警察庁「令和7年の犯罪情勢」（令和8年2月発表）
https://www.npa.go.jp/publications/statistics/crime/situation/r7_hanzaijousei_.pdf

令和3年に発生した侵入強盗は3万7,240件と近年最少を記録していましたが、その後は増加に転じ、令和5年に前年比約2割増、令和7年には4万7,233件（前年比+9.8%）と増加が続いています。1日あたり約130件のペースで発生している計算です。発生場所別では戸建住宅が29・1%と最多で、住宅

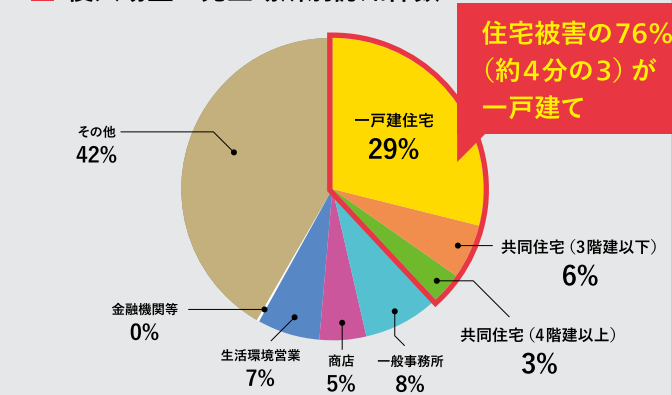
に限っては76%が戸建て住宅です。侵入経路は「窓」が約6割を占め、手口別では「無締り（鍵の閉め忘れ）」が47・8%と約半数を占めています。最新の防犯設備を備える前に、まず鍵をかける習慣の徹底が最大の対策です。一方で、ガラス破りも30・1%と3割を超えており、窓まわりの物理的な強化も欠かせません。

侵入窃盗の侵入口



出典：警察庁「住まいの防犯110番」
https://www.npa.go.jp/safetylife/seianki26/theme_a/a_b_1.html

侵入窃盗の発生場所別認知件数



住宅被害の76%（約4分の3）が一戸建て

侵入窃盗における侵入手口（令和6年・警察庁）

無締り（鍵の閉め忘れ）47.8% ガラス破り30.1% 施錠開け（ピッキング等）8.5%

講演紹介 1

2016年熊本地震から10年 改めて耐震化について考える

東京大学 名誉教授／（一社）防災教育普及協会 会長 平田 直氏



講演のポイント

- ▶ 兵庫県南部地震・熊本地震・能登半島地震では、**人口密度や脆弱性の違いがある**
- ▶ **命を守る最優先策は「耐震化」、特に2000年基準を満たすことが実証的に有効である**
- ▶ 臨時情報や注意情報が発表された際は、**過度に恐れず日頃の備えの再点検を行う**

講演紹介 2

親のこと、自分たちの老後のこと ずっと自宅で暮らすために、今から考えたい住まいのこと

清水英雄事務所 株式会社 山本知史氏



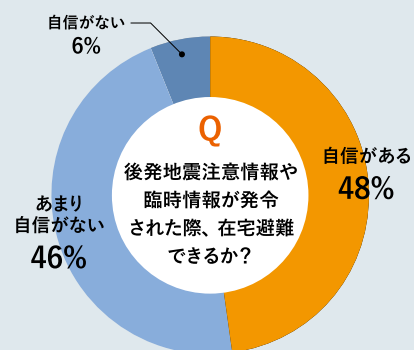
講演のポイント

- ▶ 人手不足などで、将来は**自宅で医療サービスを受けることが当たり前になる**
- ▶ 看護師の経験から「夜間の移動と転倒」「温度差」「停電」「介護・見守り」の対策を提案
- ▶ 今できることを段階的に行うことで**高齢者だけではなく、全世代が使いやすい住まいへ**

受講者アンケート結果

大地震警戒時、 半数の人が「在宅避難」に自信がない

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」や「南海トラフ地震臨時情報」発令で大地震が警戒される期間にご自宅で安心して過ごせるかどうか（在宅避難できるか）を質問した所、「あまり自信がない」「自信がない」で52%という結果に。ぜひ、皆様から耐震化をご案内しましょう！



その他のアンケート結果は右のQRコードでご確認ください

次回は9月12日（土）に開催予定です！



Seminar

木耐協セミナー
開催報告

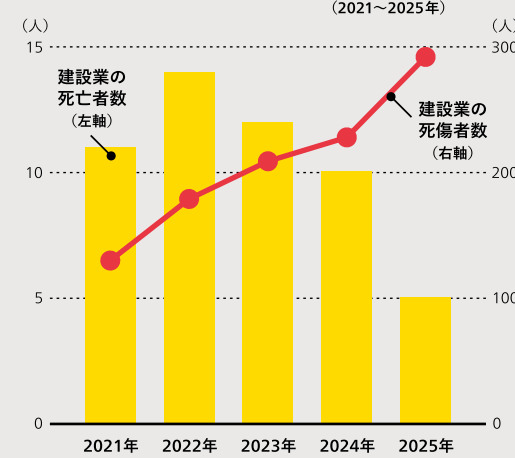
Vol.06

2026年 第2回 消費者向けオンラインセミナー
テーマは『熊本地震と耐震化＆将来を考えた住まい』
のべ170人にご参加いただきました！

2026年第2回「消費者向けオンラインセミナー」を、6月20日（土）に開催しました。講演のポイントと参加者のアンケート結果を一部紹介します。

建設業の熱中症、死亡は減っても被害者数は増えている

建設業の熱中症死傷者・死亡者数推移 (2021～2025年)



出典：厚生労働省「令和7年 職場における熱中症による死傷災害の発生状況（確定値）」 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_73330.html

死亡者数は減少も 増え続ける負傷者数

左のグラフは、直近5年間の建設業における熱中症の被害をまとめたものです。死亡者数は減少傾向にあり、義務化の効果がじわじわと出てきています。しかし、熱中症による死亡者と休業4日以上を負傷者を合わせた死傷者数は292人と増え続けています。

きちんと実施できているかチェックしましょう！

まず「仕組み」を確認しましょう

- ☐ 熱中症の疑いがある人を見つけたとき、誰に報告するか決まっていますか？
- ☐ 発見から救急要請までの対応手順を決めて、現場全員に伝えていますか？

現場の「環境」を整えましょう

- ☐ 暑さ指数計（WBGT）を準備して、毎日測定していますか？
- ☐ 涼しく横になれる休憩場所と、水分・塩分が取れる環境はありますか？

「人」への気配りを忘れずに

- ☐ 作業前に全員の体調を確認する習慣はできていますか？
- ☐ 熱中症の症状と対応手順を、現場の全員が知っていますか？



チェックリストの確認はできましたか？**現場に掲示できる「熱中症対策フローチャート」**や、具体的な対策をまとめた厚生労働省のページなど、すぐ使える情報を木耐協の特設ページに集めています。ぜひ今夏の対策にお役立てください！

特設ページURL

<https://www.mokutaikeio.com/heatstroke/>



昨年6月に労働安全衛生規則（安衛則）の改正省令が施行され、熱中症対策が企業に義務づけられました。施行から1年。昨年の状況と、改めて対策のポイントを振り返ります。

熱中症対策は進んだのか？

義務化1年、被害者数の推移

木耐協
あ・れ・こ・れ
寄稿

これからの
工務店は
営業しない！

相続相談から始まる 新たな受注戦略

第12回 最終回

“工務店が 人生の相談役” になる時代

地域とつながる「相続コンサル」
という新しいビジネスモデル

これまで見てきた通り、これらの時代は住宅を「売る」「建てる」だけでは選べれ続けることが難しくなっています。

人口減少と高齢化が進み、住まいに関する課題は、相続、介護、財産管理といった暮らし全体へと広がっています。だからこそ求められているのは、家づくりの専門家である前に、人生の相談に乗れる存在です。

相続の話をつきつかけに、実家の活用や住み替え、リフォームといった具体的な提案へとつなげていく。この流れをつくることで、営業をしなくても自然と仕事が生まれるようになります。

また、すべてを自社で解決する必要はありません。税理士や司法書士、弁護士、不動産会社、保険代理店などと連携しながら、地

域の中で相談窓口となることで、信頼とネットワークが積み重なっていきます。結果として、仕事の幅も広がり、受注につながっていくのです。

これからの工務店は、「家づくりの会社」から「人生や暮らしを相談される会社」へ。この発想の転換こそが、新しい時代のビジネスモデルです。そしてその中心にあるのが相続コンサルという考え方です。

相続の相談は決して特別なものではなく、誰にでも起こり得る身近な問題です。地域の中で「困ったらずまず相談しよう」と思ってもらえる存在になることで、自然と仕事が生まれ続ける環境が整っていきます。

家を建てた後も相談が続き、紹介が生まれ、地域との関係が深まっていく。そんな循環こそが、これからの工務店の大きな強みになるはず。長く選ばれる会社づくりにもつながるのです。

デザインライフでは、業務提携やフランチャイズを通じて、こうした取り組みをサポートしています。ご興味のある方は、ぜひお気軽にお声がけください。



プロフィール

株式会社デザインライフ
代表取締役 杉村洋介

岡山県出身。26歳で保険代理店「デザインライフ」を設立後、2015年より相続コンサルタント事業を開始。年間約500件の相続相談に対応し、遺言・信託・相続税・登記・保険・不動産など幅広くサポート。現在は全国の相続専門家育成にも携わる。

Tel 0120-009-422
E-mail dl-consultant@design-life.jp
Webサイト https://design-life.jp
住所 〒700-0975 岡山県岡山市北区今3-9-12

2026年
8
月号

耐震診断・補強の疑問・質問にお答えします！

鈴木
顧問の技術通信



鈴木芳郎 千葉県生まれ。1級建築士。
2024年に木耐協技術顧問に就任し、
研修会講師を担当。以前、執行役員を
務めていた会社で工務店経営コンサルや
商品開発支援、仮設住宅建設に尽力。

今月のテーマ

2025年改訂版で 変わったこと④ 階高の調査が追加

2025年の国勢調査が発表になり、東京都と沖縄県だけは人口増ですが、市区町村ではあの横浜市でさえも人口減です。毎年約160万人が亡くなる一方、出生数は70万人に満たないのですから、どのエリアでも益々少子高齢化で悩む社会となっていきます。

そんな中、資産を持ち、一人当たりの消費（住居費と教育費を除く）が増えているのが60歳以上のアクティブシニアと言われる世代です。しかし、その人たちが住む住宅性能は、残念ながら低いのです。まだまだ元気なシニアたちに、快適で安全な住宅に住んでいただきたい。耐震や断熱の性能向上リフォームを提案するチャンスではないでしょうか。

テーマ 階高による割増について

「2025年版」では、省エネ改修の普及を背景に、**建物の実態に即した「必要耐力の精緻化」**が大きなテーマとなっています。太陽光パネルの搭載や断熱材の増厚による建物の重量化に対応するため、屋根・外壁の仕様に応じた必要耐力の割増が求められるようになりました。その一環で階高の割増も規定されています。

「2025年版」では一般診断法・精密診断法1のいずれにおいても、各階の**階高が2.8mを超える場合、外壁・内壁の床面積当たりの重量を「階高÷2.8」で割り増して必要耐力を求め**ることが規定されました。一般診断法は階高3.4m程度までは適用でき、これを超える場合は精密診断法での診断が必要です。精密診断法1の建築基準法施行令に準じた方法で重量を算定します。階高と割増の関係は下表のとおりです。

現地調査では、各階の階高（床仕上り面から上階の床仕上り面まで）および小屋裏の最高高さを確認します。仕上りや下地の構成が目視で判断しにくい場合には、確認申請図書に含まれる矩計図を参照して確認することも有効です。

実測値と図面値に差がある場合は実測を優先し、差異の理由（仕上り増し・段差等）もあわせて記録しておく、後工程での手戻りを防げます。既存図面と現況が食い違う物件では特に注意が必要です。割増の有無で必要耐力が変わり、補強計画にも大きな影響があるため、確実に測定を行いましょう。

現在木耐協で作成中の**2025年版対応「現地調査票」**では、**この階高の実測欄を新たに設ける**予定です。今のうちから実測の習慣を身につけておくことをお勧めします。

■ 階高による必要耐力の割増（早見表）

各階の階高	必要耐力の扱い
2.8m以下 (2,800mm)	割増し なし
2.8m超 (2,800mm)	割増し あり 重量を「階高 ÷ 2.8」で割増
3.4mまで (3,400mm)	この方法の適用上限 極端に超える場合は精密診断法1で別途算定

※一般診断法・精密診断法1のいずれも、各階の階高が2.8mを超える場合に適用。
※階高＝床仕上り面から上階の床仕上り面まで。判断しにくい場合は矩計図を参照。

出典：2025年改訂版「木造住宅の耐震診断と補強方法」基準と解説編 p.33・p.42・p.81・p.173

技術的なご相談はこちらへ！

Mail mts@mokutaikyo.com

Tel 03-6261-2040（木耐協事務局）

経営基礎講座

知識だけでは
優位に立てない時代に
AIの活用について聞かない日はないくらいの全盛です。多くの経営者は「自社でどうAIを使うか」に関心を持っています。実はもっと重要な視点がありますが、それは「お客様もAIを使う時代になった」ということです。これまで住宅リフォームや工務店業界では、専門知識の差が受注の大きな武器でした。しかし今は、お客様が見積書や提案内容をAIに読み込ませ、「この金額は適正か」「他に方法はないか」と簡単に調べられるようになって、根拠の曖昧な説明は

すぐに見抜かれてしまうでしょう。また、補助金制度や断熱性能、工法の違いなど、これまで私たち建築のプロしか知らなかった情報を事前に学んで来店される方が増えていくはず。AIにできない価値とは？
ではこのAI時代にどうすればお客様に選んでいただける会社になれるでしょうか？それは「知識」ではなく「信頼」ではないかと思います。実際の施工経験からくる提案力、地域特有の事情への理解、迅速な対応、誠実な説明、そして工事後も続くお客様との関係性。これらは

AIが代わることでできない価値です。特に地域密着型の工務店やリフォーム会社が長年培ってきたOB顧客とのつながりや地域での評判は、むしろこれからさらにお客様が評価する事柄になるでしょう。AI時代は、知識を持つ会社が選ばれる時代ではありません。「この会社なら安心して任せられる」と思われる会社が選ばれる時代です。技術や知識に加え、人としての信頼を積み重ねてきた会社こそが、これからの時代お客様に選ばれる会社になるはず。

プロフィール



石原直之

1989年に新卒でホームイング（現ミサワリフォーム）に入社。1992年ホームテック（東京都、売上65億）創立に参加。取締役として営業、マーケティング、新規事業部門長を歴任。2020年より中小リフォーム会社の経営者の業務をサポートする業務支援株式会社を設立し現在にいたる。日本住宅リフォーム産業協会（ジェルコ）理事、事業開発統括委員長も務める。

業務支援株式会社 E-mail ishihara@g40.biz

第6回

AI時代に選ばれる会社、選ばれなくなる会社

「人」「会社」「信頼」が重要

視野や知識を広げ、お客様への提案に役立つ資格をご紹介します。

住宅ローンの基礎知識や金利リスク、税制などを体系的に学び、お客様に最適な住宅ローンを提案・助言するための資格です。住宅ローンアドバイザー（登録者）は、最新情報を盛り込んだ会報やメルマガ、各種コンテンツが利用可能になります。近年、金利動向への関心が高まる中、工務店やリフォーム会社が資金面の不安に寄り添うことでお客様との信頼関係を築き、成約率の向上にもつながります。

シ道

資格は武器になる

第21回

住宅ローンアドバイザー

- ▶ 受験資格：特になし
- ▶ 資格取得費用：23,100円（税込）
※テキスト、映像視聴、効果測定料を含む
※合格後に登録料11,000円（税込）
- ▶ 講習・試験の時期：年2回
※2026年度第2回は、受付期間「9/14（月）～11/13（金）」、効果測定「12/8（火）、9（水）、10（木）」を予定
- ▶ 管理団体：一般財団法人 住宅金融普及協会
<https://www.loan-adviser.jp/>



News & Topics

- 木耐協 消費者に届ける3種のチラシ・パンフが完成！
 - ▶ 悪質業者注意喚起チラシ
 - ▶ マイホーム健康診断
 - ▶ わが家の地震防災ガイド

この度、組合員の皆様から消費者に配布するためのツールを、3種類を作成しました。ぜひご活用ください！ ※基本PDFデータ・一部有料

組合員専用ページ



NEW



リニューアル



リニューアル

今号の理事長オススメはこれ1冊！
『ブティック』

やっぱり池井戸潤の小説は面白い。平易な言葉と読み易い文体で、無理なく登場人物に感情移入でき臨場感が生まれます。タイトルが「ブティック」なので、何となくアパレル関係の話かと、全くの予備知識無しで読み始めたら、なんといま流行りの企業間M&Aの話でした。主人公の雨宮秋都は大学卒業後に東京中央銀行に入行して3年目、日本橋支店の若手の営業担当です。銀行マンが抱くジレンマ（自分としては融資したいが、上司のOKが出ない等）と闘いながら日々を過ごしている中、降って湧いたような中堅企業に対するM&Aの話。売り手側・買い手側、双方の思惑とM&A専門仲介会社や銀行が絡み合い、虚々実々の展開が繰り広げられます。味方が敵になったり敵が味方に見えてきたり、そこに絡む詐欺も横行して、一体この誰を信用して良いやら…ページを捲る指は止まりません。

実際に今の世の中は、経営者の高齢化や人手不足等の理由でM&Aが大流行りです。しかし、大体が中小企業同士の問題なので、当事者間で事件があってもニュースになることはありませんから、その実態を知る経営者は少ないと思います。まだ法整備が出来ておらず、利益相反にあたる仲介会社の「両手仲介」が当たり前ですし、悪意のある買い手企業など、結果として売り手側は成功の数より失敗の数が多いとさえ言われています。



年中無休24時間営業でもなかなか成果が出ない「社長業」に疲れた時、ふとその重き責任から逃れたいとM&Aの誘惑にかられる事は誰しもあると思います。しかし、社長の勉強不足によって、自らの不幸は兎も角として、従業員の人生も狂わせてしまう可能性もある決断は、よほど慎重に進めるべき大仕事だと改めて思いました。

169冊目
ブティック
著者／池井戸潤
発行／ダイヤモンド社
価格／2,000円(税別)



ドラマ化必至!?
2年ぶりの長編小説

事務局通信

● 編集後記 ●

麹町の事務所近くに毎年つばめが巣を作っていましたが、悲しい事に今年は戻って来てくれませんでした。つばめは渡り鳥なので、あの小さい体と羽根で東南アジアと日本を行き来しています。どこに海を渡るエネルギーを秘めているのか、生命の神秘を感じます。来年は戻って来てくれることを願うばかりです。(関)

セミナーアーカイブページを随時更新中！ぜひご活用ください

今年は提携・メーカー賛助会員にご協力いただき、オンラインセミナーの開催を増やしています。組合員専用ページにはアーカイブページを設けているのでぜひご視聴ください。

- ▶ リ・バース60『耐震利子補給制度』解説/住宅金融支援機構
- ▶ 液状化リスクマネジメント/ジャパンホームシールド
- ▶ お客様とAIに選ばれる情報発信/リフォーム評価ナビ 等

組合員
専用ページ



表紙に掲載した「博物館 明治村」のご案内

約100万㎡という広大な敷地を誇る博物館明治村では、今回の「芝川又右衛門邸」だけでなく、重要文化財建造物11件を含む60件以上の建造物が移築・保存され、見学することができます。ぜひ、この機会に訪れてみてはいかがでしょうか。

所在地：愛知県犬山市字内山1番地
電話番号：0568-67-0314
入村料金：大人2,500円
営業時間・休村日：季節によって異なるためHPをご参照ください

明治村HP



発行 ● 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合

発行人 ● 小野秀男 編集 ● 関 励介、伊藤健三、渥美寿子

所 在 ● 東京都千代田区麹町2-2-31 麹町サンライズビル4階 tel 03-6261-2040 fax 03-6261-2041

木耐協メーカー賛助会員様からのご案内

ホームページから問合せが無くてお困りの社長さん！

100万円で作った
ホームページから
問合せがこず
困っていませんか？



私たちがお困り事を解決します！

ホームページ集客で20年の実績とノウハウを持っているネット集客ラボが
貴社ホームページの分析レポートを作ってオンラインで無料コンサルティングします。

無料コンサルティングを体験した工務店様の声

柏市の工務店様

- 無料診断の感想
「大変良かった」
- ご意見・感想
「丁寧で分かり易く教えて頂きました」



千葉県大多喜町の工務店様

- 無料診断の感想
「良かった」
- ご意見・感想
「自社サイトでSEOできていない点が分かった」



問合せ・無料コンサルの申込はこちらから

080-3090-8122

無料
コンサル
申込QR



ネット集客
ラボ

株式会社 ネット集客ラボ

<https://netlab.works>

ネット集客ラボ 検索



HP



コンサルタント
山本 直人

組 合 員 さ ん

こ ん に ち は !

事務局員がおじゃまします



▲橿原市今井町の街並み

▶フラン真美ヶ丘
ショールーム外観

◀TDYリモデスマイル
作品コンテスト表彰式



▼リノベーション担当
藤村忠司 様



▶大規模改修事例のビフォー・アフター



株式会社 創造工舎様

奈良県橿原市



炭屋から約100年。
変えてきたのは「形」だけ

昭和2年（1927年）創業。
炭の販売からガス・石油、台所ま
わりの設備工事へ、そして住宅リ
フォームへ——約100年かけて
業態を変えながら、奈良・橿原の
地を一度も離れていないのが創造
工舎様です。3代目である阪本社
長が「仕事は堅実に、コツコツと」

と語るとき、その言葉に積み重ね
てきた歴史の重みを感じました。

「30分を超えたら、
友人や親戚でも断ります」

目的別に4つのブランド（フラ
ン、リプラ、けあねん、ブーク）を
展開し、対応エリアは車で片道30
分圏内に限定。阪本社長は「やつ
た仕事には最後まで責任を全うす
るために、施工後も気持ちよくお
客様に対応できる範囲が大事。」
と言い切ります。友人や親戚も例
外としないこの線引きに、「地域
になくてはならない会社でありた
い」という理念が表れています。

リフォームのプロが、

耐震を「必須」にした理由

「綺麗にするだけじゃあかん」
という問題意識から、2003年
に木耐協に加盟されました。当初
は外部の構造設計士に依頼しなが
ら理論を学び、ノウハウを蓄積し
て、応力度計算や基礎への荷重を
踏まえた自社独自の補強手法を確

立されました。現在はリノベ
ーション担当の藤村様が耐震提案の
中心を担います。

「増改築や間取り変更の相談で
は、築年数や建築基準とセットで
必ず耐震の話をする。するとお
客様がすぐく納得して聞いてくだ
さる実感があります。」と、藤村様。
自治体の補助金も地道に利用し続
けてきた結果、最近では役所から
逆紹介を受けるケースもあるそ
うです。

約100年の歴史が培った地域
への責任感と、藤村様をはじめと
するスタッフの皆様の誠実な仕事
ぶりが、創造工舎様のさらなる発
展につながっていくと感じました。

地元に貢献するという真摯な姿
勢が会社の土台にあり、藤村様
をはじめスタッフの皆さんがその
精神を体現されているのが伝わ
りました。いつか事務所を訪ね、
耐震の説明方法やツールなどを
ぜひ拝見したいと
思いました。

事務局：伊藤

